

## 令和5年度 市川中学校学区 地域学校協働本部 活動のまとめ

### 〈目的〉

この地域学校協働本部は、学校区内の地域と学校が連携・協働して、地域全体で、未来を担う子どもを支えるとともに、学校を核とした地域の活性化を図るボランティア活動を推進することを目的とする。

## ★市川中学部会活動の経過と反省（臨時総会にて）

### (1)活動内容

5月22日（月）1年総合「福祉講話（福祉講和・手話学習）」

6月20日（火）1年総合「校外学習（市川三郷地域めぐり）」

7月14日（金）学校家庭地域連携推進協議会「総会・専門部会」

生徒と委員との意見交換「防災訓練・10年後の市川三郷町」

8月8日（火）全校ボランティア「神明の花火大会清掃活動」

9月3日（日）「地域の防災訓練」への参加

9月22日（金）2年家庭科「ほうとう作り」（学家地連活動）

10月8日（日）吹奏楽部「みさとの秋まつり」で演奏参加

11月1日2日（水）（木）2年総合「職場体験」市川三郷町内

11月8日（水）1年総合「青洲高校見学」

11月11日（土）ボランティア「花植・駅前清掃作業」（学家地連活動）

11月21日（土）3年生「ほうとう作り」（食生活改善推進委員）

3学期実施予定                      2年社会科「防災学習会」

### (2)成果と課題

#### ◇成果

\*市川中は伝統のある学校家庭地域連携推進協議会（以下、学家地連）の活動を基本とし、活動することができた。活動に当たって、コロナが5類となり、学家地連における活動制限がほぼ無くなり、学校と地域との交流

ができる環境となった。そんな中で、今までやってきた全ての活動をただ、そのまま再開するのではなく、持続可能な活動にするためには、どうすれば良いかを学家地連の理事会（6/28）の際、役員と教職員で話し合った。それぞれの専門部で意見を出し合い、工夫改善された活動計画を立て、活動が実施されたことは成果であると考えます。

①**環境整備部**・・・昨年同様に、ケアセンターいちかわや病院、ミニデイサービスの**花壇の花植**えと、**市川大門駅周辺**の**清掃**を行った。

②**体験学習部**・・・「**ほうとうづくり**」を2年家庭科「郷土食をつくろう」の単元で学家地連の皆さんを講師に調理実習を実施した。2年家庭科で実施する事で全校生徒が在学中に必ず参加できることになる。但し、再開を楽しみにしていた現3年生がいることを一瀬コーディネーターに相談したところ町の食生活改善委員さんに繋げて頂き、今年度は特別市川中3年のための「ほうとうを作る会」を開いていただいた。共に大盛況で、生徒は地域の方々と楽しくふれあい、活動することができた。

③**広報研修部**・・・今まで広報誌「きずな」を専門部独自で発行していたが、学校通信や学年通信、HPで活動の様子が発信できるとし広報誌の発行はしないこととした。さらに他の情報発信手段として、町の広報担当に繋げ取材をしてもらい、**市川三郷町の広報誌で活動を紹介**して頂けた。また、山梨日日新聞にも掲載することができた。

④**総会**・・・意見交換の中で、生徒からの前向きな意見が多数出された。

- ・防災訓練にあたり、**地域のために自分たちが出来ること**は何か。
- ・自分の思い描く**10年後の市川三郷町**にするためには自分たちに何ができるか。

#### ◇課題

\*動き出したばかりの活動であるので、引き続き地域学校協働本部の目的や目指す地域と学校の関わり方を教職員へ周知する。さらには、保護者にも伝えていく必要がある。

\*町合同避難訓練の参加の奨励

〈職場体験について〉

- \* 職場体験の体験先一覧の数をさらに増やせるといい。
- \* 4校での情報共有の促進

2 次年度へ向けて

- \* 地域学校協働本部内の学家地連活動のブラッシュアップ
- \* 今年度の反省を生かした職場体験のブラッシュアップ
- \* 学校運営協議会発足を見据えた活動の推進

〈活動のようす〉



神明の花火大会清掃ボランティア



みさとの秋祭り(吹奏楽部)



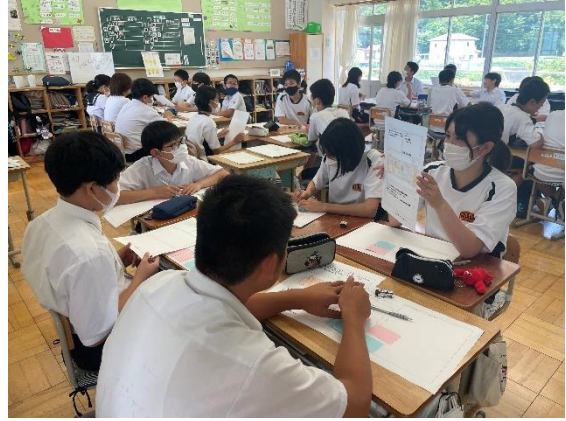
花植え・駅前清掃ボランティア



青洲高校見学(1年)



地域巡り・職場見学(1年)



コンセプトシート発表会(1年)



職場体験(2年)



職場体験発表会(2年)



ほうとうづくり(2年)



福祉講和・手話学習(1年)